

日時・場所	平成29年7月24日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、大藤議会事務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長（代理：服部次長）、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 市長指示事項

- 先週の土曜日、夏まつり花火大会を開催された。市民、地域、団体等の協力により円滑に進み、無事終わることができた。様々な企業や団体等から寄付を受け、花火は昨年より1,000発程度増やし、徐々に充実してきているし、昨年の経験も生かし様々な改善を行うなど、市民力による良い大会になった。このような皆で協力して進めるイベントにおいては、核になる事務局機能が必要であり、隙間を恒常的に埋めにいく役割を担わなければならない。観光物産協会や商工会には一定の役割を担ってもらっているが、市役所もその中でかなりの役割を果たしている。そういう役割を市役所という組織や職員一人ひとりが担っていることについて共通理解をしておくこと。今、九州や東北で豪雨による災害が起こっているが、災害もいざとなるとやはり市役所は市民にとって一番の支えになるものである。災害時は当然だが、このような皆で協力して進める前向きな取組においても市役所に重要な役割が存在することを認識しておくこと。
- 本市では、会議は可能な限り公開、仮に非公開でも結果公開という形で記録はすべて透明性を確保している。ただ、記録をまとめるにあたり、音声を一字一句文字に起こしているものが見受けられる。しかし、それでは何が論点なのか、誰がどういう発言をどういうことに対して行ったかが全く分からない。議会の議事録の場合は一字一句が後々重要になってくるが、会議記録をまとめる場合には、もちろん秘密にせよということではなく、論点や発言趣旨等の核心部分が重要であるので、音声記録の全てを文字で起こすのではなく、むしろ、課題や要点や論点をしっかりと記録に残すことに力を注ぐこと。必要であれば音声記録をその都度確認すればよい。なお、部署によって対応が異なっているため、記録の取り方や公表の仕方について統一的な整理をしてもらいたいと考えている。
- 今年の夏はかなり暑くなるようなので、特に幹部職員は自己管理も大変ではあるが、職員を鼓舞する役割も担っているので、休養も取りつつ、職員が疲れないように配慮しながら仕事に取り組むこと。

2. 報告事項
なし

3. 協議事項
なし

4. その他伝達事項

- 夏まつり花火大会では対外的な事故もなく、昨年の課題も一定解決できた。警察や消防との連携、シャトルバスの運行等もスムーズに行うことができた。なお、来場者は約2万人であった。（環境経済部）
- 前回の部長会議で報告した「野州市市街化調整区域における地区計画制度の運用基準の改正について」は、いただいた意見等を踏まえ修正した内容を19日の総合調整会議で報告し、20日に各部長へ修正後の資料を配布した。その後、21日の市都市計画審議会において審議いただき、特に異論はなかった。今後、関係機関との協議を進めていく。（都市建設部）
- 前回の部長会議において、市議会で採択された「福祉医療費助成制度の拡大に関する請願」の処理経過及び検討結果の報告を6月28日付けで行ったが、7月7日付け文書により7月度の全員協議会において説明を要請されたことに対し応じる予定はないと報告した件について、具体的な課題及び論点が表示されれば説明に応じる旨の文書回答をしたので報告する。（健康福祉部）
- 7月21日付けで、市長から市議会議員長に対し、野州市市民病院計画に係る変更案、代替案等をお持ちの市議会議員から具体的な内容等をお聞きする場の設定について文書で依頼した。執行部としては従来から懇談会等を開催しており、十分に意見交換をしていると考えているが、議員からは市長は意見を聞かないとの発言があったため、意見を聞く場を設定しようというものである。なお、本件

は各報道機関にも情報提供済みである。(政策調整部)

→本件については、明日(25日)の全員協議会の追加事項として議長から報告があり、議員間で議論をされる予定である。(議会事務局)

→執行部が退席した後で議論すべきではないか。

→議長と協議する。(議会事務局)

5. 次回部長会議の予定

8月1日(火) 8時45分～ 庁議室